

2023 年度

私立大学図書館協会西地区部会  
東海地区協議会  
総 会

2023 年 5 月 26 日(金)

椋山女学園大学

## 目次

---

2023 年度東海地区協議会総会議事次第	p. 1
2023 年度東海地区協議会総会出席者名簿	p. 2
2023 年度東海地区協議会総会委任状提出館	p. 3

### [報告事項]

1. 2022 年度東海地区協議会事業報告	p. 4
2. 2022 年度東海地区協議会研究会事業報告	p. 8
3. 2022 年度協会会務報告	
(1) 協会関係事項報告	
1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員	p. 10
2) 2022 年度委員会報告	
① 協会賞審査委員会	p. 14
② 研究助成委員会	p. 14
③ 国際図書館協力委員会	p. 16
3) 私立大学図書館協会 2023 年度西地区部会総会及び研究会	p. 19
4) 第 84 回 (2023 年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会	p. 21
(2) 協会関連事項報告	p. 22

### [審議事項]

1. 2022 年度東海地区協議会決算 (案) および監査報告	p. 24
2. 2023 年度東海地区協議会役員校および委員校 (案)	p. 28
3. 2023 年度東海地区協議会事業計画 (案)	p. 29
4. 2023 年度東海地区協議会予算 (案)	p. 32
5. 2023 年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算 (案)	p. 35
6. 2023 年度以降の東海地区協議会役員校および 私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等 (案)	p. 37
7. 東海地区協議会総会資料冊子の取り扱い (案) について	p. 40
8. 東海地区協議会における事業のスリム化 (案) について	p. 41
9. 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会 事業に係る申し合せ (案) の制定について	p. 45
10. 西地区部会ならびに東海地区協議会におけるスリム化の検討について (案)	p. 46

## 2023 年度東海地区協議会総会議事次第

日 時：2023 年 5 月 26 日（木） 14:00～

場 所：椋山女学園大学（Web 会議）

司 会：理事校 椋山女学園大学図書館

開会の辞：理事校 椋山女学園大学図書館

挨拶：会場校 椋山女学園大学図書館 館長 脇田 泰子

議長選出：

### [報告事項]

1. 2022 年度東海地区協議会事業報告 [愛知工業大学]
2. 2022 年度東海地区協議会研究会事業報告 [椋山女学園大学]
3. 2022 年度協会会務報告
- (1) 協会関係事項報告
- 1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員 [椋山女学園大学]
- 2) 2022 年度委員会報告
- ①協会賞審査委員会 [名古屋外国語大学・名古屋学芸大学]
- ②研究助成委員会 [中部大学]
- ③国際図書館協力委員会 [愛知大学]
- 3) 私立大学図書館協会 2023 年度西地区部会総会及び研究会 [椋山女学園大学]
- 4) 第 84 回（2023 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会 [椋山女学園大学]
- (2) 協会関連事項報告 [椋山女学園大学]

### [審議事項]

1. 2022 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告  
[愛知工業大学]、[椋山女学園大学]、[日本福祉大学]
2. 2023 年度東海地区協議会役員校および委員校（案） [椋山女学園大学]
3. 2023 年度東海地区協議会事業計画（案） [椋山女学園大学]
4. 2023 年度東海地区協議会予算（案） [椋山女学園大学]
5. 2023 年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案） [金城学院大学]
6. 2023 年度以降の東海地区協議会役員校および  
私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等（案） [椋山女学園大学]
7. 東海地区協議会総会資料冊子の取り扱い（案）について [椋山女学園大学]
8. 東海地区協議会における事業のスリム化（案）について [椋山女学園大学]
9. 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
事業に係る申し合せ（案）の制定について [椋山女学園大学]
10. 西地区部会ならびに東海地区協議会におけるスリム化の検討について（案）  
[椋山女学園大学]
11. その他

閉会の辞：理事校 椋山女学園大学図書館

## 2023年度 東海地区協議会総会出席者名簿

2023. 5. 23 現在

	図 書 館 名	職 名	氏 名
1	愛知大学図書館	名古屋図書館事務課 課長	鈴木 孝則
2	愛知学院大学図書館情報センター	事務長	関谷 常德
3	愛知学泉大学図書館		高橋 明美
4	愛知工科大学附属図書館	課長	市川 悟秀
5	愛知工業大学附属図書館	課長	柘岡 憲司
6	愛知淑徳大学図書館	事務主任	山田 稔
7	岡崎女子大学・岡崎女子短期大学図書館	課長補佐	黒柳 摩耶
8	岐阜医療科学大学図書館	課員(事務職)	小林 泰広
9	岐阜聖徳学園大学図書館	係長	長屋 さとみ
10	金城学院大学図書館	課長	田中 宏樹
11	皇學館大学附属図書館	事務長	浅井 誠司
		主事	藤原 正憲
12	椋山女学園大学図書館	図書館長	脇田 泰子
		課長	川井 幸治
		主任	川隅 知美
13	星城大学図書館		辰 早苗
14	瀬木学園図書館	図書館員	武笠 真由子
15	中部大学附属三浦記念図書館	次長	高木 秀明
16	東海学園大学図書館	課長	峯野 幸子
17	同朋大学・名古屋音楽大学図書館	課長	前田 利明
18	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館	課長	守田 正江
19	名古屋学院大学学術情報センター(図書館)	課長	牧野 雅
		課長補佐	児玉 政和
			坂東 慶太
20	名古屋経済大学図書館	副部長	懸田 潤
21	名古屋女子大学学術情報センター	センター長補佐	尾崎 友子
		係長	北村 咲
22	名古屋造形大学図書館		立川 美千代
23	名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学図書館	課長	藤田 憲哉
24	南山大学ライネルス中央図書館	図書館事務室長	後藤 真貴子
25	日本福祉大学付属図書館	図書館職員	石川 宗臣
26	藤田医科大学図書館	課長	岩井 芳弘
27	名城大学附属図書館	課長	川村 信一

総会：27館 33名

## 2023年度 東海地区協議会総会委任状提出館

2023年5月23日現在

愛知産業大学・短期大学図書館  
愛知東邦大学学術情報センター  
愛知文教大学附属図書館  
朝日大学図書館  
一宮研伸大学図書館  
桜花学園大学図書館  
岐阜協立大学図書館  
岐阜女子大学附属図書館  
至学館大学附属図書  
修文大学附属図書館  
鈴鹿医療科学大学附属図書館  
大同大学図書館  
中京大学図書館  
中京学院大学メディアセンター  
中部学院大学附属図書館  
東海学院大学・東海学院大学短期大学部附属図書館  
豊田工業大学総合情報センター  
豊橋創造大学附属図書館  
名古屋芸術大学附属図書館  
名古屋産業大学・名古屋経営短期大学図書館  
名古屋商科大学中央情報センター  
人間環境大学附属図書館

計 22 館

## 【 報 告 事 項 】

**(1) 総会**

日 時：2022 年 5 月 26 日（木）  
場 所：愛知工業大学（Web 開催）  
出 席：25 館 32 名（委任状提出館 24 館）  
議 事：

## [報告事項]

1. 2021 年度東海地区協議会事業報告
2. 2021 年度東海地区協議会研究会事業報告
3. 2021 年度協会会務報告

## [審議事項]

1. 2021 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告
2. 2022 年度東海地区協議会役員校および委員校（案）
3. 2022 年度東海地区協議会事業計画（案）
4. 2022 年度東海地区協議会予算（案）
5. 2022 年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）
6. 2022 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等について（案）
7. 東海地区協議会加盟会費請求書への公印押印の省略について（案）
8. 理事校引継ぎ資料（過年度分）の今後の取り扱いについて（案）
9. 西地区部会ならびに東海地区協議会におけるスリム化の検討について（案）

## 総会関連行事（講演会）

講演テーマ：AI 時代の大学図書館員のコンピテンシー

講 師：小田 光宏氏（青山学院大学 コミュニティ人間科学部 学部長・教授）

参加者数：26 館 43 名

**(2) 常任幹事会**

## ①第 1 回

日 時：2022 年 4 月 21 日（木）  
場 所：Web 会議（愛知工業大学）  
出 席：10 校 13 名  
議 事：

## I. 報告事項

1. 2021 年度東海地区協議会事業報告
2. 2021 年度東海地区協議会研究会事業報告
3. 2021 年度協会会務報告

## II. 審議事項

1. 2021 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告
2. 2022 年度東海地区協議会役員校および委員長校（案）
3. 2022 年度東海地区協議会事業計画（案）

4. 2022 年度東海地区協議会予算（案）
5. 2022 年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）
6. 2022 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等（案）
7. 東海地区協議会加盟会費請求書への公印押印の省略について
8. 理事校引継ぎ資料の取り扱いについて
9. 西地区ならびに東海地区協議会におけるスリム化の検討について
10. その他

## ②第2回

2022 年 12 月 9 日（金）～ 16 日（金）

場 所：メール会議（愛知工業大学）

参 加：10 校 13 名

議 事：

### I. 報告事項

1. 私立大学図書館協会関係
2. 西地区部会関係
3. 東海地区協議会関係
4. 東海地区協議会研究会
5. 東海地区大学図書館協議会
6. 『館灯』残部の保管状況及び寄贈について
7. 西地区部会の組織・活動のスリム化について

### II. 審議事項

1. 研究会運営委員会委員の身分に関する申し合わせについて
2. 2023 年度東海地区協議会役員校・委員長校について
3. 2023 年度以降の理事校、役員校、当番校について

### III. その他

1. 2022～2023 年度 私立大学図書館協会関係行事予定について
2. 2022 年度西地区部会研究会の発表者について

## ③第3回

2023 年 3 月 10 日（金）

場 所：愛知工業大学 本山キャンパス

参加者数：10 校 15 名

議 事

### I. 報告事項

1. 私立大学図書館協会関係
  - (1) 第2回東西合同役員会
  - (2) 第2回西地区部会役員会
  - (3) 委員会報告
    - 1) 協会賞審査委員会
    - 2) 研究助成委員会

- 3) 国際図書館協力委員会
2. 東海地区大学図書館協議会

## II. 審議事項

1. 2022 年度東海地区協議会事業報告および中間決算 (案)
2. 2022 年東海地区協議会研究会活動報告および決算 (案)
3. 2023 年度東海地区協議会役員校および委員校 (案)
4. 2023 年度東海地区協議会事業計画 (案)
5. 2023 年度東海地区協議会総会 (案)
6. 2023 年度東海地区協議会予算 (案)
7. 2023 年度東海地区協議会研究会事業計画および予算 (案)
8. 東海地区協議会における事業のスリム化 (案)
9. 2023 年度以降の理事校・役員校・当番校 (案)

## III. その他

1. 東海地区協議会総会資料冊子の取り扱い (案) について
2. 「学生協働フェスタ in 東海運営申し合せ」について
3. 『館灯』残部の寄贈及び保管について
4. 理事校引継ぎ資料 (過年度分) について

## IV. 懇談事項

1. 私立大学図書館協会会報担当校について

### (3) 東海地区協議会スリム化検討ワーキンググループ会議

#### ①第1回

日 時：2022 年 4 月 21 日 (木)  
場 所：Web 会議 (愛知工業大学)  
参 加：12 校 14 名

#### 協議事項

1. 「東海地区協議会事業のスリム化検討に関するアンケート」結果について
2. スリム化検討の方向性・方法等について

#### ②第2回

日 時：2022 年 9 月 30 日 (金)  
場 所：Web 会議 (愛知工業大学)  
参 加：12 校 14 名

#### 協議事項

1. スリム化に関するワーキンググループ意見収集結果について
2. 東海地区協議会事業スリム化 (案) について

#### ③第3回

日 時：2022 年 12 月 22 日 (木)  
場 所：Web 会議 (愛知工業大学)  
参 加：12 校 14 名

協議事項

1. 西地区部会の組織・活動のスリム化について
2. 東海地区協議会事業スリム化について
3. 今後の検討課題及びスケジュールについて

(4) 学生協働フェスタ in 東海 2022

日 時：2022年9月14日（水）10：00～15：30

場 所：オンライン開催

参 加：7校 46名（大学生28名 職員18名）

内 容：講演「漁村の本屋トンガ坂文庫～なぜ魚ではなく本を売るのか～」

講師 本澤 結香 氏/豊田 宙也 氏（トンガ坂文庫）

学生交流会

職員情報交換会

活動報告

幹事校：「学生協働フェスタ in 東海」サポートミーティング

金城学院大学図書館、皇學館大学附属図書館、中部大学附属三浦記念図書館、  
名古屋女子大学学術情報センター

## 【運営委員会】

## 第 1 回

日 時：2022 年 4 月 11 日（月）14：00～15：25

場 所：Web 会議（椋山女学園大学）

- 議 題：1. 2022 年度東海地区研究会運営委員会委員について  
2. 2022 年度研究会運営委員会委員の役割分担について  
3. 常任幹事会（2022-03-10）について  
4. 主幹事校及び副幹事校の引継ぎ会について  
5. 2022 年度研究会事業計画及び予算について  
6. 2022 年度研究会について  
7. 2022 年度実務担当者研修会について  
8. 東海地区協議会ウェブサイトについて（2022 年度）  
9. 『館灯』について（2022 年度）  
10. その他

## 第 2 回

日 時：2022 年 5 月 31 日（木）14：00～15：12

場 所：Web 会議（椋山女学園大学）

- 議 題：1. 2022 年度東海地区研究会運営委員会委員について  
2. 2022 年度実務担当者研修会について  
3. 2022 年度研究会について  
4. コンテンツ係からの業務報告について  
5. 『館灯』について（2022 年度）  
6. その他

## 第 3 回

日 時：2022 年 7 月 27 日（水）14：00～15：18

場 所：Web 会議（椋山女学園大学）

- 議 題：1. 2022 年度実務担当者研修会について  
2. 2022 年度研究会について  
3. 『館灯』について  
4. その他

## 第 4 回

日 時：2022 年 12 月 1 日（木）14：00～15：13

場 所：Web 会議（椋山女学園大学）

- 議 題：1. 2022 年度実務担当者研修会について  
2. 2022 年度研究会について  
3. 『館灯』について  
4. 次年度の研究会運営委員会について  
5. その他

## 第5回

日 時：2023年2月21日（火）10：00～10：42

場 所：Web 会議（相山女学園大学）

- 議 題：1. 2022年度東海地区協議会研究会事業報告（案）及び決算（案）について  
2. 東海地区協議会ウェブサイトについて  
3. 『館灯』について  
4. その他

### 【研究会】

テ ー マ：図書館員のためのカビ・ムシ被害への対策

日 時：2022年10月20日（木）14時00分～16時20分

会 場：名城大学ナゴヤドーム前キャンパスレセプションホール および  
オンライン（Zoom ウェビナー） ハイブリッド開催

参加者数：対面11校 14名、オンライン14校 25名

内 容：

1. 講演：「名城大学の事例報告」

講師：川村 信一 氏（名城大学附属図書館情報管理課課長）

2. 講演：「事例から読み解くカビ被害の予防と対策（図書点検・クリーニングの実践）」

講師：井上 桃子 氏（株式会社明治クリックス文化財 IPM 事業部課長）

### 【図書館実務担当者研修会】

期 日：2022年8月31日（水）、9月1日（木）、2日（金）

会 場：オンライン形式（Zoom）

参加者数：19校 50名（延数）

全体テーマ：ウイズコロナ時代における情報発信力の強化

内 容：テーマ1 海外の学術情報流通（8月31日）

講師：佐藤 翔 氏（同志社大学 免許資格課程センター 准教授）

テーマ2 ガイダンス用コンテンツ作成（9月1日）

講師：宮原 俊之 氏（帝京大学 高等教育開発センター主任 教授）

テーマ3 著作権の最新情報（9月2日）

講師：村井 麻衣子 氏（筑波大学 図書館情報メディア系 准教授）

### 【『館灯』発行】

第61号（2023年3月）

編集担当：日本福祉大学

発行部数：200部

### 【東海地区協議会ウェブサイト】

掲載情報更新

## (1) 協会関係事項報告

## 1) 加盟校等について

## ① 2022年度加盟校数 (2021年度受理、2022年度総会承認)

東地区 270 校

西地区 251 校

合計 521 校

## ② 2022年度加盟申込校 (2021年度受理、2022年度総会承認、加盟日 2022年4月1日)

東地区 0 校

西地区 0 校

合計 0 校

## ③ 2022年度脱退届出校 (2021年度受理、2022年度総会承認、脱退日 2022年3月31日)

東地区 1 校 人間総合科学大学図書館 (2021年5月31日受理)

西地区 3 校 徳山大学図書館 (2022年2月7日受理)

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属図書館 (2022年3月11日受理)

愛知医科大学総合学術情報センター (2022年3月29日受理)

合計 4 校

## ④ 2023年度加盟申込校 (2022年度受理、2023年度総会承認予定、加盟日 2023年4月1日)

東地区 1 校 アール医療専門職大学図書館 (2022年12月26日受理)

西地区 1 校 令和健康科学大学図書館 (2022年6月30日受理)

合計 2 校

## ⑤ 2023年度脱退届出校 (2022年度受理、2023年度総会承認予定、脱退日 2023年3月31日)

東地区 2 校 日本経済大学東京渋谷キャンパス図書館・情報センター  
(2022年6月8日受理)

旭川大学図書館 (2023年1月16日受理)

西地区 5 校 大阪河崎リハビリテーション大学図書館 (2022年7月4日受理)

広島国際学院大学図書館 (2022年7月7日受理)

聖マリア学院大学図書館 (2022年10月11日受理)

保健医療経営大学情報メディアセンター図書館  
(2022年11月7日受理)

天理医療大学図書館 (2022年11月21日受理)

合計 7 校

## ⑥ 館名変更

東地区 なし

西地区 関西福祉科学大学図書館

→ 関西福祉科学大学・関西女子短期大学図書館 (変更日 2023年4月1日)

## 2) 2022年度 協会役員校、委員会および協会関連団体委員

## [1] 役員校 (2021~2022年度)

会長校 西南学院大学

東地区部会

部会長校 成蹊大学

理事校 立正大学 (研究部担当)

" 亜細亜大学 (分科会更新)

〃	関東学院大学	(分科会月例担当)
〃	常葉大学	(地区ブロック選出)
監事校	國學院大學	(前会長校)
西地区部会		
部会長校	松山大学	(中国・四国地区協議会)
理事校	愛知工業大学	(東海地区協議会・会報担当)
〃	近畿大学農学部	(京都地区協議会)
〃	四天王寺大学	(阪神地区協議会)
〃	川崎医療福祉大学	(中国・四国地区協議会・会則第12条第2項)
〃	福岡工業大学	(九州地区協議会)
監事校	佛教大学	(前部会長校)

## [2] 委員会

### ① 協会賞審査委員会

木下和彦	慶應義塾大学
倉持勝	駒澤大学
鈴木努	早稲田大学
小澤正和	日本大学
有川浩	関西学院大学
守田正江	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学
二宮敦	美作大学
小野未来子	福岡女学院大学

### ② 研究助成委員会

鈴木直子	明治学院大学	(次期会長校(東))
細本有理子	成蹊大学	(東地区部会長校)
山下智美	帝京大学	(東地区次期部会長校)
飯泉慎也	専修大学	(東地区次期研究部担当理事校)
坂本里栄	西南学院大学	(会長校(西))
松井千代美	松山大学	(西地区部会長校)
高木秀明	中部大学	(西地区次期部会長校)
吉川正規	近畿大学農学部	(西地区理事校(京都地区協議会))

### ③ 国際図書館協力委員会

伊藤顕矢	同志社大学	(京都・阪神地区ローテーション)
御園和之	早稲田大学	(早慶ローテーション)
松岡直樹	立教大学	(東地区委員校)
細本有理子	成蹊大学	(東地区部会長校)
島田美津穂	愛知大学	(東海地区ローテーション)
山口由美子	西南学院大学	(西地区(部)会長校ローテーション)

### ④ 協会ホームページ委員会

※2021年3月31日をもって廃止

[3] 協会関連団体

1) 国公立大学図書館協力委員会

委員長館：筑波大学 (2021年8月1日～2022年7月31日)  
横浜市立大学 (2022年8月1日～2023年7月31日)

① 委員館 (2021年4月1日～2023年3月31日)

委員館・常任幹事館 慶應義塾大学  
委員館・常任幹事館 早稲田大学  
委員館 成蹊大学  
委員館 國學院大學  
委員館 西南学院大学  
委員館 松山大学

② 『大学図書館研究』編集委員会 (2021年4月1日～2023年3月31日)

委員 浅尾千夏子 慶應義塾大学  
委員 杉谷美和 明治大学  
委員 今村昭一 早稲田大学  
委員 吉場千絵 神奈川大学  
委員 伊藤民雄 実践女子大学・実践女子短期大学部  
委員 伊藤幸江 関西学院大学  
委員 村上孝弘 龍谷大学

③ 大学図書館著作権検討委員会 (2021年4月1日～2023年3月31日)

委員 佐藤義則 東北学院大学  
委員 服部光泰 早稲田大学  
委員 佐藤康之 慶應義塾大学

④ 大学図書館著作権検討委員会ワーキング・グループ

※2020年3月31日をもって廃止

⑤ シンポジウム企画・運営委員会 (2021年4月1日～2023年3月31日)

委員 笹渕洋子 早稲田大学  
委員 河野江津子 慶應義塾大学

⑥ Webサイト運用チーム (2021年4月1日～2023年3月31日)

※主査は、国立から選出  
委員 坂本里栄 西南学院大学

⑦ 国公立大学図書館協力委員会と国立国会図書館との連携に係る検討会議  
(2021年12月～2022年)

委員 鈴木 努 早稲田大学  
委員 三谷三恵子 慶應義塾大学

2) これからの学術情報システム構築検討委員会

委員 安達 匠 國學院大學  
委員 鹿田昌司 近畿大学

委員 飯野勝則 佛教大学 ※別枠

委員 竹澤紀子 早稲田大学 ※JUSTICE運営委員会からの推薦

3) 日本図書館協会

① 代議員

古田雅憲 西南学院大学図書館長

渡邊知行 成蹊大学図書館長

中村雅人 松山大学図書館長

② 大学図書館部会

施設会員委員

笹淵洋子 早稲田大学

関口素子 慶應義塾大学

③ 図書館年鑑編集委員

高野晋治 西南学院大学

## 2) 2022 年度委員会報告

### ①協会賞審査委員会報告

#### 1) 委員会について

##### 第1回委員会

日 時：2022 年 7 月 13 日（水） 10 時 00 分～10 時 30 分

場 所：Web会議

##### 報告事項

1. 委員の交代について
2. 2021年度協会賞授賞式について

##### 協議事項

1. 2022年度協会賞の募集について

##### 第2回委員会

日 時：2023 年 1 月 26 日（木） 14 時 00 分～17 時 00 分

場 所：Web会議

##### 報告事項

1. 前回議事録の確認
2. 2022年度事業計画の中間状況報告および2023年度事業計画報告

##### 協議事項

1. 2022年度協会賞審査について
2. 次期（2023-2024年度）委員長の選出について

##### 懇談事項

1. 2021年度・2022年度活動報告（案）について

##### 第3回委員会

日 時：2023 年 2 月 27 日（月） 10 時 00 分～11 時 00 分

場 所：Web会議

##### 議題

1. 前回議事録の確認
2. 2022年度協会賞審査について

#### 2) 2022年度協会賞について

受付期間：2022年10月3日（月）～12月16日（金）（消印有効）

郵送と電子メールの2通りで受付

推薦件数：1 件

### ②研究助成委員会報告

#### 1) 委員会について

##### 第1回委員会

日 時：2022 年 6 月 1 日（水） 14 時 00 分～15 時 20 分

場 所：Web 会議

##### 報告事項

1. 2022年度研究助成委員会について

2. 2021年度研究助成特別会計決算および 2022 年度予算（案）について
3. 2022年度研究助成報告書、発表について
4. 2022年度活動方針について
5. 今後のスケジュールについて
6. その他

協議事項

1. 2023年度【2022年度申請】研究助成募集について
2. その他

懇談事項

1. 研究助成の周知と協会会員の実態等について
2. その他

第2回委員会

日 時：2022年11月9日（水）～11月14日（月）

場 所：メール会議

協議事項

1. 2023年度【2022年度申請】研究助成再募集について
2. その他

第3回委員会

日 時：2022年11月14日（月）～11月16日（水）

場 所：メール会議

協議事項

1. 2023年度【2022年度申請】研究助成再募集の実施について
2. その他

第4回委員会

日 時：2023年1月11日（水） 14:00～15:20

場 所：Web 会議

報告事項

1. 2022年度研究助成特別会計決算見込み
2. 2022年度研究助成特別会計予算（案）
3. 2023年度研究助成支出報告、成果報告、発表について
4. 2023-2024年度研究助成委員会委員について
5. 今後のスケジュールについて
6. その他

協議事項

1. 2023年度【2022年度申請】研究助成審査について
2. その他

第5回委員会

日 時：日 時 2023年2月28日（火） 14:00～14:50

場 所：Web 会議

報告事項

1. 2021・2022年度研究助成委員会活動報告の提出について

2. その他

協議事項

1. 2023 年度【2022 年度申請】研究助成審査について

2) 実施事業について

①研究助成の応募状況について

受付期間：(第1次) 2022年9月16日(金)～2022年11月11日(金)

応募件数：1件

③国際図書館協力委員会報告

1) 委員会について

第1回委員会 (Web会議)

日 時：2022年6月13日 (月)

報告事項

1. 2021年度第11回国際図書館協力委員会議事要録
2. 国際図書館協力特別会計2021年度決算・2022年度予算報告
3. 2021年度国際図書館協力基金の入金について
4. 2022年度海外認定研修について

審議事項

1. 2022年度国際図書館協力委員会スケジュール (案)
2. 2022年度寄贈資料搬送事業 (第1回) の採択について

懇談事項

1. 2022年度国際図書館協力セミナー実施について

第2回委員会 (Web会議)

日 時：2022年9月26日 (月)

報告事項

1. 2022年度第1回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2022年度第1回東西合同役員会報告について
3. 2022年度海外派遣研修 (長期研修) の補助費用について

審議事項

1. 2022年度国際図書館協力セミナー実施について
2. 2023年度海外派遣研修 (長期研修) の募集について
3. 国際図書館協力基金への支援依頼について

第3回委員会 (メール会議)

日 時：2022年10月7日 (金) ～10月18日 (火)

報告事項

1. 2022年度第2回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2022年度海外派遣研修 (長期研修) 報告書について
3. 2022年度国際図書館協力セミナーについて

第4回委員会 (メール会議)

日 時：2022年11月2日 (水) ～11月8日 (火)

報告事項

1. 2022 年度第 3 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2023 年度海外派遣研修（長期研修）募集結果について
3. 2022 年度第 2 回常任幹事会での委員会報告について
4. 国際図書館協力委員会特別会計の 2022 年度中間決算報告および 2023 年度予算（案）について

#### 第 5 回委員会（メール会議）

日 程：2022 年 12 月 2 日（月）～12 月 8 日（木）

##### 報告事項

1. 2022 年度第 4 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2022 年度国際図書館協力セミナーの申込について
3. 2022 年度第 2 回寄贈資料搬送事業の申込結果について

##### 審議事項

1. 2023 年度海外認定研修について

#### 第 6 回委員会（Web 会議）

日 時：2023 年 1 月 19 日（木）

##### 報告事項

1. 2022 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2022 年度国際図書館協力セミナーの開催報告について

##### 審議事項

1. 2023 年度海外認定研修について
2. 2023 年度寄贈資料搬送事業の募集について
3. 図書館年鑑原稿の提出について

#### 第 7 回委員会（メール会議）

日 時：2023 年 2 月 24 日（金）～3 月 1 日（水）

##### 報告事項

1. 2022 年度第 6 回国際図書館協力委員会議事要録
2. 2022 年度第 2 回東西合同役員会での委員会報告について

## (2) 実施事業について

### ①2022 年度国際図書館協力セミナー

「アジアの先進的・大学図書館～多様性と未来へ開かれたサービスの形～」というテーマで、以下のとおり開催した。

開催日時：2022 年 12 月 14 日（水）14:00～16:30

開催形式：「zoom ウェビナー」によるリアルタイム配信

※使用言語：英語（同時通訳あり）

※動画を私立大学図書館協会ホームページ内の加盟館限定ページにて公開

講演機関：公立香港浸会（バプテスト）大学図書館[香港]、国立南洋理工大学図書館[シンガポール]

参加人数：67 名

②2023 年度海外派遣研修（長期研修）の募集

日程：Mortenson Program 2023 年 5 月 24 日～6 月 20 日

ALA 年次大会 2023 年 6 月 22 日～6 月 27 日

（開催地：シカゴ）

申込締切：2022 年 10 月 28 日（金）必着

申込者：なし

③寄贈資料搬送事業

- ・2022 年度第 2 回寄贈資料搬送事業について

申込なし

④2023 年度海外認定研修の募集について

ALA・米国図書館研修、その他韓国および台湾での研修を検討したが、例年と同時期の募集をする場合には費用が非常に高額となるため、4 月の募集はいったん見送ることとなった。

⑤その他

- ・国際図書館協力基金について

8 社へ国際図書館協力基金の支援依頼を実施し、8 社から寄付があった。

- ・図書館年鑑への原稿提出について

「図書館界の国際交流」に関する原稿をJLA国際交流事業委員会へ提出した。

### 3) 私立大学図書館協会 2023 年度西地区部会総会及び研究会について

#### ① 2023 年度西地区部会総会開催概要

##### 私立大学図書館協会 2023年度西地区部会総会 開催概要 (案)

#### 1. 総 会

メール会議 (資料メール配信・書面審議によるオンライン回答)

【スケジュール】 以下、予定です。進捗状況等により若干前後する場合があります。

- ・ 2023年6月16日 (金) 開催案内及び総会資料一式を配信
- ・ 6月16日 (金) ~6月22日 (木) 18:00 加盟館による回答  
※オンラインフォームへの回答送信をもって出席とみなす
- ・ 7月6日 (木) ~7月12日 (水) 西地区部会総会議事録 (案) (部会長校作成) を  
役員校が確認する期間。
- ・ 7月19日 (水) 西地区部会総会議事録を  
各地区理事校から加盟館へ配信

—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*—\*

- ・ 館長懇談会は開催しない。
- ・ 加盟校から承合事項の提案があった場合は、回答集を総会資料配信時にあわせて  
送信する。  
提案の締切は5月上旬

## ② 2023 年度西地区部会研究会開催概要

### 私立大学図書館協会 2023 年度西地区部会研究会開催概要（案）

1. 日 時 : 2023 年 6 月 23 日（金）13:00～15:40
  2. 開催方法 : Zoom ウェビナー形式による開催(補助的に YouTube Live でも配信)  
後日、研究発表のオンデマンド配信 (YouTube の 限定公開) を行う。  
オンデマンド配信について、  
「対象は東地区部会を含む本協会加盟館」「配信期間は 1 か月程度」
  3. 参加申込 : Zoom ウェビナーの機能を利用 (予定)
  4. 申込締切日 : 2023 年 6 月 9 日（金）23:59 (予定)
  5. メインテーマ : 「地域社会における大学図書館の役割 — 創造の拠点として」
  6. プログラム
    - 12:30 入室開始 (待機)
    - 13:00 開会挨拶 当番校 広島工業大学 図書館長 本田 康作
    - 13:05～13:45 研究発表 (1) <<40 分>> 京都地区協議会  
「京都文教大学図書館のこれまでの地域連携について (仮題)」  
京都文教大学図書館 ののやま 野々山 こういち 功一  
質疑応答
    - 13:45～13:55 休憩 <<10 分>>
    - 13:55～14:35 研究発表 (2) <<40 分>> 中国・四国地区協議会  
「大学図書館の学外者向けウェブページについて(仮題)」  
美作大学図書館 にのみや 二宮 つとむ 敦  
質疑応答
    - 14:35～14:45 休憩 <<10 分>>
    - 14:45～15:25 研究発表 (3) <<40 分>> 東海地区協議会  
「『大学コンソーシアムせと 図書館連携プロジェクト』に  
ついて(仮題)」  
愛知工業大学附属図書館 ますおか 榎岡 けんじ 憲司  
質疑応答
    - 15:25 閉会挨拶 当番校 広島工業大学  
次期当番校 金沢工業大学 紹介
    - 15:40 終了
- 以 上

#### 4) 第 84 回 (2023 年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会 日程 (案)

##### 概 要

1. 開催期間  
 8月23日(水) 東西合同役員会 《オンライン会議》  
 8月24日(木)～8月31日(木) 総会 《メール会議》  
 9月1日(金) 研究大会
2. 総 会 メール会議
3. 研究大会 ハイブリッド開催(オンラインと会場参加の同時開催)  
 ※会場の参加者は200名(事前申込、先着順)
4. 研究大会会場 大正大学 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
5. メインテーマ 「ポスト・コロナを切り拓く大学図書館」
6. 日 程 一 覧

総 会	9月1日(金) 研究大会 (オンラインと会場の同時開催)
8月24日(木) 12:00 メール会議開始 (フォーム入力より表決)	10:30～11:30 図書館ツアー(オプション)
8月31日(木) 17:00 メール会議終了	12:30 開会・オリエンテーション 12:35 開会挨拶 12:40 記念講演 13:40 協会賞表彰式 13:50 休憩 14:10 講演① 15:10 休憩 15:30 講演② 16:20 事例報告 16:40 閉会挨拶 16:50 閉会

## (2) 協会関連事項報告

### 1) 国公立大学図書館協力委員会

#### ① 第93回国公立大学図書館協力委員会

日時：2022年12月22日(水) 13:30～15:30

開催方法：オンライン会議(委員長館(横浜市立大学)主催のZoom)

#### 報告事項

##### 1. 委員長館会務報告

1) 事務引継 2022.8.30

2) 協力委員会名簿、専門委員会名簿

3) 2022年度第1回常任幹事会 2022.12.22

4) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会 2022.12.22

##### 2. 「大学図書館研究」編集委員会報告

##### 3. 大学図書館著作権検討委員会報告

##### 4. シンポジウム企画・運営委員会報告

##### 5. Webサイト運用チーム報告

##### 6. 国公立大学図書館協力委員会と国立国会図書館との連携に係る検討会議報告

##### 7. 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告

##### 8. これからの学術情報システム構築検討委員会報告

##### 9. オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)報告

##### 10. 関係機関報告

1) 国立大学図書館協会報告

2) 公立大学協会図書館協議会報告

3) 私立大学図書館協会報告

4) 日本図書館協会大学図書館部会報告

5) 国立情報学研究所報告

##### 11. その他

1) 「Maruzen eBook Library」ダウンロードサービス一時停止への対応について

#### 協議事項

1. 2021年度決算(案)および監査報告について

2. 2022年度予算(案)について

3. 監事館の選出について

4. その他

#### 懇談事項

「早慶和書電子化推進コンソーシアム」について

#### その他

### 2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日時：2022年12月22日(水) 16:00～17:15

開催方法：オンライン会議(国立国会図書館主催のZoom)

#### 懇談会次第

1. 開会挨拶

2. 国立国会図書館報告

「読書バリアフリーの実現に向けて一国立国会図書館の障害者サービスの展開一」

国立国会図書館関西館長 伊藤 克尚

3. 大学図書館報告

- ・「国立情報学研究所読書バリアフリー資料メタデータ共有システムについて」  
国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長 吉田 幸苗
- ・「名古屋大学附属図書館における障害を持つ利用者への資料電子化サービスについて」  
名古屋大学附属図書館事務部長 相原 雪乃
- ・「筑波大学附属図書館における障害を持つ利用者への資料電子化サービスについて」  
筑波大学学術情報部アカデミックサポート課長 松家 久美

4. 意見交換
5. 閉会挨拶

3) 日本図書館協会  
なし

4) 後援・共催

1) 第108回全国図書館大会群馬大会（オンライン大会）の後援

公開日程：2022年10月6日（木）～7日（金）

主催：日本図書館協会、群馬県、群馬県教育委員会ほか

テーマ：「本と人が織りなす図書館の未来」

後援内容：名義使用のみで、経費は不要

2) 第24回図書館総合展\_ONLINE\_plus の後援

開催期間：2022年11月1日（火）～30日（水）

開催場所：ハイブリッド開催（オンライン開催および会場開催）

主催：図書館総合展運営委員会

後援内容：名義使用のみで、経費は不要

## 【 審 議 事 項 】

**審議事項 1**

2022年度 東海地区協議会 決算 (案)

＜収入の部＞		(単位：円)		
		加盟会費 2分の1		
科 目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A-B)	備 考
加盟会費	403,000	403,000	0	49館(2021年5月1日現在を基礎)
地区研究会交付金	319,500	319,500	0	5,500円×49館+50,000円 =319,500円
地区協議会交付金	80,000	80,000	0	各地区80,000円
地区研究会幹事校 交付金	70,000	70,000	0	各地区70,000円
雑収入	1,000	30	970	預金利息
前年度繰越金	3,644,534	3,644,534	0	
合 計	4,518,034	4,517,064	970	

＜支出の部＞		(単位：円)		
科 目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A-B)	備 考
総会費	150,000	119,414	30,586	総会資料印刷費、講演会講師謝礼
会議費	15,000	15,641	△ 641	常任幹事会(対面開催1回)等
通信費	45,000	16,280	28,720	理事校郵便物送料 『館灯』既刊号送料(加盟館⇒理事校)
事務費	600,000	437,426	162,574	Zoom年間契約費用、総会・実務担当者研 修会オンライン開催運用支援費、振込手 数料
研究会支援費	510,000	151,870	358,130	実務担当者研修会、研究会開催費用
特別事業費	100,000	30,990	69,010	「学生協働フェスタ in 東海」開催費用
図書館管理・運営実務 責任者会議支援費	0	0	0	2022年度開催なし
『館灯』刊行費	700,000	537,988	162,012	200部印刷(テープ起こし代含む)、59・60 号合併号送料
予備費	100,000	0	100,000	
次年度繰越金	2,298,034	3,207,455	△ 909,421	
合 計	4,518,034	4,517,064	970	

注) 東海地区協議会の加盟会費について、2022年度事業の縮小に伴い、2020年度施行の  
私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会費に係る申し合わせ事項」を踏まえ、  
2022年度の加盟会費を各校2分の1の額とする。

## 2022年度加盟会費

No.	図書館名	学生数 (2021.5.1)	加盟会費	2022年度 2分の1
				加盟会費
1	愛知大学図書館	9,627	26,000	13,000
2	愛知学院大学図書館情報センター	11,032	26,000	13,000
3	愛知学泉大学図書館	554	13,000	6,500
4	愛知工科大学附属図書館	889	13,000	6,500
5	愛知工業大学附属図書館	5,987	19,000	9,500
6	愛知産業大学・短期大学図書館	1,186	13,000	6,500
7	愛知淑徳大学図書館	8,680	26,000	13,000
8	愛知東邦大学学術情報センター	1,539	15,000	7,500
9	愛知文教大学附属図書館	457	11,000	5,500
10	朝日大学図書館	2,664	15,000	7,500
11	一宮研伸大学図書館	360	11,000	5,500
12	桜花学園大学図書館	892	13,000	6,500
13	岡崎女子大学・岡崎女子短期大学図書館	325	11,000	5,500
14	岐阜医療科学大学附属図書館	1,396	13,000	6,500
15	岐阜協立大学図書館	1,650	15,000	7,500
16	岐阜聖徳学園大学図書館	3,077	19,000	9,500
17	岐阜女子大学附属図書館	983	13,000	6,500
18	金城学院大学図書館	5,032	19,000	9,500
19	皇學館大学附属図書館	2,943	15,000	7,500
20	至学館大学附属図書館	1,567	15,000	7,500
21	修文大学附属図書館	717	13,000	6,500
22	椙山女学園大学図書館	5,808	19,000	9,500
23	鈴鹿医療科学大学附属図書館	2,929	15,000	7,500
24	星城大学図書館	1,484	13,000	6,500
25	瀬木学園図書館	581	13,000	6,500
26	大同大学図書館	3,535	19,000	9,500
27	中京大学図書館	12,200	26,000	13,000
28	中京学院大学メディアセンター	811	13,000	6,500
29	中部大学附属三浦記念図書館	10,955	26,000	13,000
30	中部学院大学附属図書館	1,705	15,000	7,500
31	東海学院大学・東海学院大学短期大学部附属図書館	1,312	13,000	6,500
32	東海学園大学図書館	4,203	19,000	9,500
33	同朋大学・名古屋音楽大学図書館	1,205	13,000	6,500
34	豊田工業大学総合情報センター	510	13,000	6,500
35	豊橋創造大学附属図書館	796	13,000	6,500
36	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館	7,750	19,000	9,500
37	名古屋学院大学学術情報センター	6,049	19,000	9,500
38	名古屋経済大学図書館	2,561	15,000	7,500
39	名古屋芸術大学附属図書館	2,268	15,000	7,500
40	名古屋産業大学・名古屋経営短期大学図書館	768	13,000	6,500
41	名古屋商科大学中央情報センター	3,362	19,000	9,500
42	名古屋女子大学学術情報センター	1,896	15,000	7,500
43	名古屋造形大学図書館	1,061	13,000	6,500
44	名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学図書館	71	11,000	5,500
45	南山大学図書館	9,199	26,000	13,000
46	日本福祉大学附属図書館	6,166	19,000	9,500
47	人間環境大学附属図書館	1,365	13,000	6,500
48	藤田医科大学図書館	3,048	19,000	9,500
49	名城大学附属図書館	14,910	26,000	13,000
	合 計	170,065	806,000	403,000

2022（令和4）年度東海地区協議会研究会決算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算(A)	決算(B)	差異 (A-B)	備考
研究会支援費	510,000	510,000	0	
研究会意見交換会会費	0	0	0	開催せず
実務担当者研修会参加費	0	0	0	参加費徴収せず
見学会参加費	0	0	0	開催せず
雑収入	0	0	0	
合計	510,000	510,000	0	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算(A)	決算(B)	差異 (A-B)	備考
研究会費	180,000	61,870	118,130	対面及びオンライン形式で開催
研究会費意見交換会会費	0	0	0	開催せず
実務担当者研修会	280,000	90,000	190,000	オンライン形式で開催
実務担当者研修会参加費	0	0	0	参加費徴収せず
見学会費	0	0	0	開催中止
会議費	20,000	0	20,000	
通信費	10,000	0	10,000	
事務費	20,000	0	20,000	
本会計へ戻し入れ	0	358,130	△ 358,130	
合計	510,000	510,000	0	

【支出明細】

<研究会費>

日付	摘要	支出金額	備考
2022/10/27	講師謝礼	44,560	講師謝礼30,000円、交通費14,560円
2022/12/13	消耗品等	17,310	カビふき取りキット及び送料
	合計	61,870	

<実務担当者研修会>

日付	摘要	支出金額	備考
2022/9/8	講師謝礼	90,000	講師謝礼30,000円×3名
	合計	90,000	

<会議費>

日付	摘要	支出金額	備考
	合計	0	

<通信費>

日付	摘要	支出金額	備考
	合計	0	

<事務費>

日付	摘要	支出金額	備考
	合計	0	

## 監査報告書

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第7条の定めにより、  
2022（令和4）年度の決算について、関係帳簿ならびに証憑書類を  
監査した結果、適正であることを認めます。

2023年 4月14日

監査校 日本福祉大学附属図書館



1. 2023 年度私立大学図書館協会西地区部会  
東海地区協議会役員校および委員校について (案)

○理事校

椋山女学園大学

○監事校

愛知工業大学

○常任幹事校

椋山女学園大学、愛知工業大学、金城学院大学、愛知学泉大学、名城大学  
愛知学院大学、中部大学、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

○研究会運営委員会

委員長校 金城学院大学

主幹事校 愛知学泉大学

副幹事校 名城大学

運営委員校 愛知学院大学、愛知工科大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、  
椋山女学園大学、中部大学、東海学園大学、南山大学

## ＜東海地区協議会関係＞

2023 年 4 月 20 日(木)	第 1 回常任幹事会	Web 会議
5 月 26 日(金)	東海地区協議会総会	Web 会議
8 月後半～9 月前半	学生協働フェスタ in 東海 2023	於：未定 ※感染状況によりオンラインでの開催もあり
10 月 19 日(木)	2023 年度研究会	オンライン開催 (担当：主幹事校 愛知学泉大学)
12 月 8 日(金) ～15 日(金)	第 2 回常任幹事会	メール会議
2024 年 3 月 8 日(金)	第 3 回常任幹事会	於：椋山女学園大学
3 月末	『館灯』62 号発行	(編集：副幹事校 名城大学)

※研究会の行事予定詳細については、同事業計画を参照。

※学生協働フェスタ in 東海 2023 については、31 頁を参照。

## ＜参考 私立大学図書館協会ならびにその他関連団体関係行事＞

## 1. 私立大学図書館協会関係行事

2023 年 4 月 14 日(金)	第 1 回常任幹事会	明治学院大学 (Web 会議)
6 月 15 日(木)	西地区部会第 1 回役員会 西地区部会館長懇談会 (中止)	中部大学 (Web 会議)
6 月 16 日(金) ～22 日(木)	西地区部会総会	中部大学 (メール会議) 当番校：名古屋学院大学
6 月 23 日(金)	西地区部会研究会	オンライン開催・オンデマンド配信 (期間限定) 当番校：広島工業大学
8 月 23 日(水)	第 1 回東西合同役員会	明治学院大学 (Web 会議)
8 月 24 日(木) ～31 日(木)	第 84 回私立大学図書館協会総会	明治学院大学 (メール会議)
9 月 1 日(金)	第 84 回私立大学図書館協会研究大会	ハイブリッド開催 於：大正大学 8 号館ラーニングコモンズ
12 月 1 日(金)	第 2 回常任幹事会	明治学院大学 (Web 会議)
2024 年 3 月 1 日(金) 午前	西地区部会第 2 回役員会	於：明治学院大学
3 月 1 日(金) 午後	第 2 回東西合同役員会	於：明治学院大学

## 2. 東海地区大学図書館協議会関係行事

2023 年 8 月 日 ( )	第 77 回(2023 年度)総会・研究集会	於：未定
------------------	------------------------	------

3. 日本図書館協会関係行事

2023年11月16日(木)

～17日(金)

第109回(2023年度)全国図書館大会岩手大会

於：盛岡地域交流センター(マリオス)、

いわて県民情報交流センター(アイーナ)

## 「学生協働フェスタ in 東海 2023」開催概要 (案)

1. 開催趣旨：「学生協働フェスタ in 東海」は、2018 年度より東海地区協議会催事として、各大学図書館のサポーターと教職員が互いの活動について情報共有を行い、今後の活動活性化につなげる契機とするとともに、新たに学生協働の取組みの検討を行っている大学にとっても有効な情報収集の場となっている。2021 年度、2022 年度はリモート開催となったが、2023 年度は再び各大学のサポーターが一堂に会し、対面ならではの交流の場を創出する。
2. 日 程：夏季休業中（8 月後半～9 月前半）
3. 会 場：未定（感染状況によりオンラインでの開催もあり）
4. 参加対象：私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会加盟館
5. 内 容：講演、活動報告、学生交流会 等
6. 予 算：10 万円
7. 幹 事 校：「学生協働フェスタ in 東海」サポートミーティング  
(金城学院大学図書館・皇學館大学附属図書館・  
中部大学附属三浦記念図書館・名古屋女子大学学術情報センター)

以上

## 1. 予算

## &lt;収入の部&gt;

科目			【参考】		
	2023年度予算 (A)	2022年度予算 (B)	2022年度決算 (C)	差異 (A-B)	備考
加盟会費	402,000	403,000	403,000	△1,000	49館（2022年5月1日現在を基礎） ●加盟会費全館（¥804,000）の 2分の1（注）
地区研究会交付金	319,500	319,500	319,500	0	5,500円×49館+50,000円 =319,500円
地区協議会交付金	80,000	80,000	80,000	0	各地区80,000円
地区研究会幹事校交付金	70,000	70,000	70,000	0	各地区70,000円
雑収入	1,000	1,000	30	0	預金利息
前年度繰越金	3,207,455	3,644,534	3,644,534	△437,079	
合計	4,079,955	4,518,034	4,517,064	△438,079	

## &lt;支出の部&gt;

科目			【参考】		
	2023年度予算 (A)	2022年度予算 (B)	2022年度決算 (C)	差異 (A-B)	備考
総会費	150,000	150,000	119,414	0	総会・資料印刷代等含む
会議費	15,000	15,000	15,641	0	常任幹事会2回分他
通信費	45,000	45,000	16,280	0	理事校郵便物発送分
事務費	600,000	600,000	437,426	0	Zoom年間契約費用、総会等のオンラ イン開催運用支援費
研究会支援費	300,000	510,000	151,870	△210,000	研究会1回 開催予定
特別事業費	100,000	100,000	30,990	0	「学生協働フェスタ in 東海」
図書館管理・運営実務責 任者会議支援費	0	0	0	0	2023年度開催予定なし
『館灯』刊行費	780,000	700,000	537,988	80,000	200部印刷（テープ起こし代含 む）、第61号別刷作成・発送費
予備費	100,000	100,000	0	0	
次年度繰越金	1,989,955	2,298,034	3,207,455	△308,079	
合計	4,079,955	4,518,034	4,517,064	△438,079	

注) 東海地区協議会の加盟会費について、2023年度事業の縮小（事業のスリム化等）に伴い、2020年度施行の「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会費に係る申し合わせ事項」を踏まえ、2023年度の加盟会費を各校2分の1の額とする。

## 2. 2023年度予算の暫定執行について

2023年度予算が承認されるのは、2023年5月26日（金）で予定している東海地区協議会総会においてである。したがって、2023年4月1日（土）以降5月26日（金）までの期間における研究会活動等の東海地区協議会の活動は、2022年度予算額の範囲内で暫定予算として執行する。

2023年度加盟会費（案）

No.	図書館名	学生数 (2022. 5. 1)	加盟会費	2023年度 2分の1 加盟会費(案)
1	愛知大学図書館	9,732	26,000	13,000
2	愛知学院大学図書館情報センター	11,194	26,000	13,000
3	愛知学泉大学図書館	572	13,000	6,500
4	愛知工科大学附属図書館	841	13,000	6,500
5	愛知工業大学附属図書館	6,160	19,000	9,500
6	愛知産業大学・短期大学図書館	1,183	13,000	6,500
7	愛知淑徳大学図書館	8,337	26,000	13,000
8	愛知東邦大学学術情報センター	1,460	13,000	6,500
9	愛知文教大学附属図書館	402	11,000	5,500
10	朝日大学図書館	2,578	15,000	7,500
11	一宮研伸大学図書館	353	11,000	5,500
12	桜花学園大学図書館	829	13,000	6,500
13	岡崎女子大学・岡崎女子短期大学図書館	285	11,000	5,500
14	岐阜医療科学大学附属図書館	1,465	13,000	6,500
15	岐阜協立大学図書館	1,675	15,000	7,500
16	岐阜聖徳学園大学図書館	3,287	19,000	9,500
17	岐阜女子大学附属図書館	991	13,000	6,500
18	金城学院大学図書館	5,037	19,000	9,500
19	皇學館大学附属図書館	2,808	15,000	7,500
20	至学館大学附属図書館	1,545	15,000	7,500
21	修文大学附属図書館	806	13,000	6,500
22	椋山女学園大学図書館	5,583	19,000	9,500
23	鈴鹿医療科学大学附属図書館	2,981	15,000	7,500
24	星城大学図書館	1,418	13,000	6,500
25	瀬木学園図書館	586	13,000	6,500
26	大同大学図書館	3,678	19,000	9,500
27	中京大学図書館	12,905	26,000	13,000
28	中京学院大学メディアセンター	758	13,000	6,500
29	中部大学附属三浦記念図書館	11,134	26,000	13,000
30	中部学院大学附属図書館	1,673	15,000	7,500
31	東海学院大学・東海学院大学短期大学部附属図書館	1,399	13,000	6,500
32	東海学園大学図書館	3,977	19,000	9,500
33	同朋大学・名古屋音楽大学図書館	1,216	13,000	6,500
34	豊田工業大学総合情報センター	514	13,000	6,500
35	豊橋創造大学附属図書館	814	13,000	6,500
36	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館	7,718	19,000	9,500
37	名古屋学院大学学術情報センター	6,135	19,000	9,500
38	名古屋経済大学図書館	2,526	15,000	7,500
39	名古屋芸術大学附属図書館	2,396	15,000	7,500
40	名古屋産業大学・名古屋経営短期大学図書館	762	13,000	6,500
41	名古屋商科大学中央情報センター	3,063	19,000	9,500
42	名古屋女子大学学術情報センター	1,752	15,000	7,500
43	名古屋造形大学図書館	1,175	13,000	6,500
44	名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学図書館	117	11,000	5,500
45	南山大学図書館	9,269	26,000	13,000
46	日本福祉大学付属図書館	5,917	19,000	9,500
47	人間環境大学附属図書館	1,480	13,000	6,500
48	藤田医科大学図書館	3,025	19,000	9,500
49	名城大学附属図書館	15,277	26,000	13,000
	合 計	170,788	804,000	402,000

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会費に係る申し合わせ事項

- 1 この申し合わせは、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会（以下、協議会という。）の諸活動に係り、通常避けがたい事由により活動阻害が発生した場合の緊急的時限措置として、「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会細則」の定めにある会費の金額を、臨時に変更することに係り定めることを目的とする。
- 2 次のような事態変化により、協議会活動が妨げられるほどの重大な影響（事業の縮小や中止）があった場合に、会費を臨時に変更することができることとする。
  - ① 深刻・重大な健康被害を及ぼすようなウイルスや細菌等により国内環境の急激な変化をもたらし、疾病等が蔓延した場合
  - ② 通常の世界生活を脅かすほどの国内情勢、社会情勢の重大な変化があった場合
  - ③ 国内または全世界的に緊急事態が発生した場合
  - ④ その他、常任幹事会において緊急的時限措置として臨時の会費変更がやむを得ないと判断された場合
- 3 この申し合わせは協議会の常任幹事会が責任を持つものとし、会費を変更する対象年度、金額については、協議会の総会において承認を得るものとする。  
（変更する金額は、協議会活動の規模・内容に応じて理事校が算出し、常任幹事会の承認を得て、総会に諮るものとする。）
- 4 その他必要な事項については、東海地区協議会常任幹事会において適宜協議することとする。

この申し合わせは、2020年4月1日より実施する。

**2023 年度東海地区協議会研究会事業計画（案）**

## 1. 研究会

## (1) 2023 年度研究会テーマ

「変化に対応できる図書館を目指して：電子リソース管理と学習支援を学ぶ」

2023 年 3 月、科学技術・学術審議会情報委員会のオープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会が「審議のまとめ」を公開した。「審議のまとめ」では、教育・研究の現場で起こりつつあるデジタル・トランスフォーメーション（DX）を踏まえ、大学図書館に、各大学の教育・研究推進体制全体の中での位置付けや役割を意識しながら、「デジタル・ライブラリー」として大学の様々な活動を支援することを求めている。

大学を巡る環境が大きく変化している今日、大学図書館は設置者、規模の大小に関わらず、情報技術の活用、館外の機関との連携を進め、「デジタル・ライブラリー」として新たな付加価値を提供することが必要であると言える。

2023 年度研究会では、上記の視点と 2022 年度研究会のアンケート結果を踏まえ、「電子リソース管理」、「学習支援」の二つの項目を設け、それぞれの項目について優れた知見を有している大学職員に講演をお願いする。

## (2) 研究会の概要

日 時： 2023 年 10 月 19 日（木）14：00～16：30

会 場： オンライン

内 容：講演 1 「電子リソース管理の現状と課題」（仮）

講師：坂本 里栄 氏（西南学院大学）

講演 2 「図書館の学習支援の在り方」（仮）

講師：山崎 その 氏（京都外国語大学）

## 2. 東海地区協議会機関誌『館灯』

- ・『館灯』62 号発行（編集担当：副幹事校（名城大学） 発行予定日：2024 年 3 月末）
- ・『館灯』の規程類に関する検討

## 3. コンテンツ係

- ・東海地区協議会ウェブサイトの管理（ウェブサイトの修正作業は委託）
- ・『館灯』記事の J-STAGE への登録作業、修正作業

## 2023年度東海地区協議会研究会予算（案）

収入の部

（単位：円）

科 目	2023年度予算 (A)	2022年度予算 (B)	差異 (A - B)	備 考
研究会支援費	300,000	510,000	-210,000	
研究会意見交換会会費	0	0	0	
実務担当者研修会参加費	0	0	0	
見学会参加費	0	0	0	
合 計	300,000	510,000	-210,000	

支出の部

（単位：円）

科 目	2023年度予算 (A)	2022年度予算 (B)	差異 (A - B)	備 考
研究会費	250,000	180,000	70,000	
見学会費	0	0	0	
実務担当者研修会	0	280,000	-280,000	
会議費	20,000	20,000	0	
通信費	10,000	10,000	0	
事務費	20,000	20,000	0	
合 計	300,000	510,000	-210,000	

**審議事項 6**

**2023 年度以降の東海地区協議会役員校および  
私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等(案)**

(1) 理事校ローテーション

No.	図書館名	学生数	理事校担当年度	会長校・西地区 部会長校 担当年度
1	椋山女学園大学図書館	5,583	2023・2024	
2	金城学院大学図書館	5,037	2025・2026	
3	南山大学図書館	9,269	2027・2028	
4	名城大学附属図書館	15,277		2017・2018 会長校
5	愛知淑徳大学図書館	8,337		2023・2024 以降の 会長校又は部会 長校
6	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館	7,718	2029・2030	
7	東海学園大学図書館	3,977	2031・2032	
8	中京大学図書館	12,905	2033・2034	
9	愛知学院大学図書館情報センター	11,194	2035・2036	
10	中部大学附属三浦記念図書館	11,134		2023・2024 西地区部会長校
11	名古屋学院大学学術情報センター	6,135	2037・2038	
12	愛知大学図書館	9,732	2039・2040	
13	日本福祉大学附属図書館	5,917	2041・2042	
14	愛知工業大学附属図書館	6,160	2043・2044	

学生数は 2022. 5. 1 現在

運用原則

- ・ 上記ローテーション表（奉仕対象学生数 4,000 名以上を有する大学について、前回理事校を担当した順番で作成）に従って、理事校を担当する。
- ・ 奉仕対象学生数に拘らず東海地区協議会発展のために理事校を担当することは妨げない。
- ・ 理事校担当予定校が年度によって受けられない事情がある場合は、早めに当該大学が責任を持って他大学へ依頼し、常任幹事会、総会の承認を得る。
- ・ 奉仕対象学生数の大幅減少（3,000 名未満）等の理由により理事校を受けられないと申し出があった場合は、常任幹事会で検討し総会に諮る。
- ・ 私大図協会会長校、西地区部会長校については、別途定める。
- ・ 私大図協会会長校、西地区部会長校を担当した場合、ローテーションが一巡する間、理事校担当を免除される。ただし、東海地区協議会発展のために理事校を担当することは妨げない。

(2) 役員校ローテーション

No.	図書館名	学生数	担当年度
1	愛知大学図書館	9,732	1993・1994 部会担当理事校
2	中京大学図書館	12,905	2001・2002 会長校
3	南山大学図書館	9,269	2003・2004 部会長校
4	愛知学院大学図書館情報センター	11,194	2013・2014 部会長校
5	名城大学附属図書館	15,277	2017・2018 会長校
6	中部大学附属三浦記念図書館	11,134	2023・2024 部会長校
7	愛知淑徳大学図書館	8,337	2023・2024 以降の 会長校又は部会長校

学生数は2022.5.1現在

運用原則

- ・ 上記ローテーション表（学生数8,001名以上を有する大学で1990年以降に役員校を担当した順番で作成）に従って、私大図協会会長校・西地区部会長校（以下「役員校」）を担当する。
- ・ 奉仕対象学生数に拘らず私立大学図書館協会発展のために役員校を担当することは妨げない。
- ・ 役員校担当予定校が年度によって受けられない事情がある場合は、早めに当該大学が責任を持って他大学へ依頼し、常任幹事会、総会の承認を得る。
- ・ 奉仕対象学生数の大幅減少（8,000名以下）等の理由により役員校を受けられないと申し出があった場合は、常任幹事会で検討し総会に諮る。

2023年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校等（案）

年度	私大図協会 会長校	私大図協会 総会・研究 大会当番校	西地区 部会 会長校	西地区 部会総会 当番校	研究会 当番校	地区 理事校	私大図協東海地区協議会研究会委員長校・幹事校			年度	東海地区大学図書館協議会運営委員長校 (愛知、岐阜、三重、静岡の国立、公立、私立 大学図書館)				
							委員長	(主幹事)	(副幹事)		委員長校	幹事校	協賛校		
2011 (H23)	立教大学	早稲田大学	広島修道 大学	倉敷芸術 科学大学	甲南大学	中京大学	中部大学	名古屋学院大学	豊橋創造大学	2011 (H23)	名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学	豊橋創造大学 (研修会)	名古屋学院大学		
2012 (H24)		慶應義塾大学		金沢工業大学	鹿児島国際大学			名古屋経済大学	名古屋学院大学	2012 (H24)	中京大学 (総会)	名古屋経済大学	名古屋芸術大学		
2013 (H25)	立命館大学	中京大学	愛知学院 大学	皇學館大學	岡山理科大学	中部大学	名古屋学院大学	名古屋芸術大学	名古屋経済大学	2013 (H25)	中京大学	名古屋経済大学 (研修会)	名古屋芸術大学		
2014 (H26)		岡山理科大学		神戸学院大学	大谷大学			名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学	名古屋芸術大学	2014 (H26)	中部大学 (総会)	名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学	名古屋商科大学		
2015 (H27)	東洋大学	明治学院大学	福岡大学	九州産業大学	椋山女学園大学	名古屋学院大学	愛知大学	愛知大学	名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学	2015 (H27)	中部大学	名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学 (研修会)	名古屋商科大学		
2016 (H28)		上智大学		福山大学	大阪産業大学			名古屋女子大学	愛知大学	2016 (H28)	名古屋学院大学 (総会)	南山大学	同朋大学・ 名古屋造形大学		
2017 (H29)	名城大学	摂南大学	大阪工業 大学	帝塚山大学	西南学院大学	愛知大学	日本福祉大学	同朋大学・ 名古屋造形大学	名古屋女子大学	2017 (H29)	名古屋学院大学	南山大学	同朋大学・ 名古屋造形大学		
2018 (H30)		龍谷大学		南山大学	四国大学・ 高松大学			南山大学	同朋大学・ 名古屋造形大学	2018 (H30)	愛知大学 (総会)	名古屋女子大学 (研修会)	日本福祉大学		
2019 (H31/R元)	國學院大學	帝京大学	佛教大学	大阪経済大学	同志社大学	日本福祉大学	愛知工業大学	人間環境大学	南山大学	2019 (H31/R元)	愛知大学	名古屋女子大学	日本福祉大学		
2020 (R2)		明治大学		熊本学園大学	名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学			藤田医科大学	人間環境大学	2020 (R2)	日本福祉大学 (総会)	人間環境大学	藤田医科大学		
年度	私大図協会 会長校	私大図協会 総会・研究 大会当番校	西地区 部会 会長校	西地区 部会総会 当番校	研究会 当番校	地区 理事校	私大図協東海地区協議会研究会委員長校・幹事校			年度	東海地区大学図書館協議会運営委員長校 (愛知、岐阜、三重、静岡の国立、公立、私立 大学図書館)				
委員長	(主幹事)	(副幹事)	委員長校	幹事校	協賛校										
2021 (R3)	西南学院 大学	愛知大学	松山大学	ノートルダム 清心女子大学	大阪芸術大学	愛知工業大学	椋山女学園大学	日本福祉大学	藤田医科大学	2021 (R3)	日本福祉大学	人間環境大学	藤田医科大学		
2022 (R4)		追手門学院 大学		同志社女子 大学	沖縄国際大学			名城大学	日本福祉大学	2022 (R4)	愛知工業大学 (総会)	名城大学 (研修会)	聖隷クリスティーア大学		
2023 (R5)	明治学院 大学	大正大学	中部大学	名古屋学院 大学	広島工業大学	椋山女学園大学	金城学院大学	愛知学泉大学	名城大学	2023 (R5)	愛知工業大学	名城大学	聖隷クリスティーア大学		
2024 (R6)		駒澤大学		大阪電気 通信大学	(京都)			愛知工科大学	愛知学泉大学	2024 (R6)	椋山女学園大学 (総会)	静岡理工科大学	静岡産業大学		
2025 (R7)	関西学院 大学	京都女子大学	福岡大学	久留米大学	(東海)	金城学院大学	南山大学	愛知産業大学	愛知工科大学	2025 (R7)	椋山女学園大学	静岡理工科大学	静岡産業大学		
2026 (R8)		(九州)		安田女子 大学	(阪神)			愛知東邦大学	愛知産業大学	2026 (R8)	金城学院大学 (総会)	常葉大学 (研修会)	日本大学		
2027 (R9)	(東)	(東)	(阪神)	京都産業 大学	(九州)	南山大学	名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学	愛知文教大学	愛知東邦大学	2027 (R9)	金城学院大学	常葉大学	日本大学		
2028 (R10)		(東)		(東海)	川崎医療大学			朝日大学	愛知文教大学	2028 (R10)	南山大学 (総会)				
2029 (R11)	(京都)	(西)				名古屋外国語大学 ・名古屋学芸大学	東海学園大学	桜花学園大学	朝日大学	2029 (R11)	愛知淑徳大学				
2030 (R12)		(西)						岡崎女子大学・岡崎 女子短期大学図書館	桜花学園大学	2030 (R12)	名古屋外国語大学 (総会)				
東海地区の理事校は、奉仕対象学生数4,000名以上を有する大学が原則として担当することとする。 (総会開催年度の1年前の東海地区協議会学生数調査をもとにする。)ただし、加盟館は、奉仕対象学 生数に拘らず東海地区協議会の発展のために理事校を担当することを妨げない。理事校担当予定校が 年度によって受けられない事情がある場合は、その大学が責任をもって早めに他大学に理事校を依頼 する。会長校と部会長校については、別途定める。							理事校ローテ ーションにより、次 期理事校が委員長 校を務める。任期 は2年とする。			研究会幹事校は、理事校ローテ ーション校を除く『館灯』の掲載順 により担当となる。研究会幹事担当校 が年度によって受けられない事情が ある場合、その大学が責任をもって 早めに他大学へ幹事校を依頼する。 また、当番校から依頼があれば、そ れ以外の大学も応援することができる。 『館灯』の編集は副幹事校が担 当する。			大学図書館協議会運営委員長校は、原則として『館灯』の掲載順である。総会会場 校は、平成13年度より、国、私、公、私の順番で受ける。研究会会場校は、平 成12年度より、国、私、公、私の順番で受ける。総会会場担当予定校や研修会 会場担当予定校が、年度によって受けられない事情がある場合、その大学が責任 をもって早めに各当番校を他大学に依頼する。また、当番校から依頼があれば、 それ以外の大学も応援することができる。 私立大学(東海地区)名簿一巡後は静岡の私立大学が担当する。静岡のローテ ーションは静岡加盟校で決定する。私立大学担当の総会会場校は当面、私立大学 (東海地区)が担当する。		

## 東海地区協議会総会資料冊子の取り扱い（案）について

### 【提案事項】

- 「総会資料」冊子は作成しない。
- 「総会資料」は、PDF データを東海地区協議会のメーリングリストを利用して加盟館へメール配信を行うとともに、私立大学図書館協会ホームページに掲載することとする。（ホームページには、2021 年度以降の総会資料を掲載する。）

\*\*\*\*\*

### ●現状

#### 私立大学図書館協会

- 「総会・研究大会資料」冊子は、2022 年度から廃止。  
(令和 4 年 3 月 4 日（金）開催 2021 年度第 2 回東西合同役員会において承認)

#### 西地区部会

- 「総会資料」冊子は作成しない。  
(令和 4 年 6 月 17 日（金）～23（木）開催 2022 年度西地区部会総会において承認)  
※ 2020 年度、2021 年度ともに作成しなかったが、特段の問題は生じていない。

### ●「総会資料」冊子を作成しないことによるメリット・デメリット

#### [メリット]

- ・経費（印刷費、郵送費、作業コスト等）を削減できる。
- ・資料の作成期間を長く確保できる。
- ・資料の訂正及び差し替えが容易に行うことができる。
- ・資料の残部の処分等の必要がなくなり、環境に配慮した取り組みとなる。

#### [デメリット]

- ・紙媒体の資料が必要な場合、加盟館各自で印刷をしてもらう必要がある。
- ・総会が対面で開催となった場合、資料を持参してもらう必要がある。

## 東海地区協議会における事業のスリム化（案）について

2021年度東海地区協議会総会において、東海地区協議会事業等見直しの検討母体としてワーキンググループの立ち上げが承認され、11大学で構成された「東海地区協議会スリム化検討ワーキンググループ」が設置された。

同ワーキンググループでは、協議会加盟館を対象とした「東海地区協議会事業のスリム化検討に関するアンケート」（調査期間：2022年2月28日（月）～3月17日（木）、回答率90%）を実施し、その結果を参考に検討をすすめ、以下の通り『東海地区事業スリム化（案）』をとりまとめた。

\*\*\*\*\*

### 東海地区協議会事業スリム化（案）

#### I. 研究会

- 事業を継続する
- 開催回数及び方式
  - ・原則として年1回の開催とする。
  - ・開催方式、アーカイブ化等については運営委員会で決定する。

#### II. 実務担当者研修会

- 従来の隔年開催の形式は止め、研究会と統合する。
- 研究会との統合については「申し合わせ事項」を作成する。

#### III. 見学会

- 事業を継続する
- 開催回数及び方式
  - ・不定期開催とする。
  - ・原則として現地集合・現地解散とする。
  - ・見学会開催年度については、研究会の開催を必須としない。

#### IV. 図書館管理・運営実務責任者会議

- 事業を継続する
- 開催回数及び方式
  - ・理事校任期期間中（2年間）に少なくとも1回の開催とする。
  - ・管理者レベルでの情報交換を目的とした企画とし、開催方法は原則、対面開催とする。
  - ・具体的な開催時期・内容等は理事校に一任する。

#### V. 『館灯』刊行

- 事業継続について結論を保留
  - ※『館灯』の冊子体刊行は当面継続とし、2023年度に研究会運営委員会・スリム化検討ワーキンググループ・常任幹事会において、『館灯』の掲載内容の詳細を始めとした諸課題や今後の取り扱い等について検討する。

以上

『東海地区協議会事業スリム化検討に関するアンケート』調査結果  
～開催等希望の有無の選択理由～

## I. 研究会

	理由	回答数	主な意見		
開催を希望する ・回答数：43	・情報収集、情報交換	21	・他大学の取り組み、図書館を取り巻く現状を学べる		
			・新しい情報、必要な情報の取り入れ		
			・東海地区のニーズに合わせた情報交換の場が必要		
			・共同で情報交換する必要性		
	・スキルアップ、刺激を得る場	16	・研修機会の確保		
			・スタッフの研修の場、専門的な学びの場として有用 ・他大学スタッフとの交流親睦		
・その他	6	・オンラインは、時間費用の面でメリット多 ・オンラインだと参加しやすい			
開催を希望しない ・回答数：8	・マンパワー不足で対応不可	4	・参加人員時間の不足 ・企画開催には労力を要する ・図書館業務は外部委託、管理側の職員も兼務		
			・不要と考える	2	・他地区の研究会にもオンラインで参加可能のため、東海地区であえて実施する必要なし
					★希望・提案

## II. 実務担当者研修会

開催希望	理由	回答数	主な意見	
開催を希望する ・回答数：33	・情報収集、情報交換	10	・他大学の取り組み、図書館を取り巻く現状を学べる	
			・新しい情報、必要な情報の取り入れ	
			・東海地区のニーズに合わせた情報交換の場が必要	
			・同業者としての連携や協力	
	・スキルアップ、刺激を得る場	17	・日頃気が付かない問題について考える良い機会	
			・スタッフの研修の場、専門的な学びの場として有用	
			・大学図書館実務者に特化した研修会は他では受ける機会なし	
			・実務に直結するスキルアップ研修として、実際に手を動かして学ぶ機会が必要	
			・ワーキング作業では図書館員同士のつながりも生まれる重要な機会	
			・実務担当者を対象としたテーマで、実務に直結する内容で企画されることが多い ・他大学スタッフとの交流親睦	
・その他	3	・近隣（東海）で参加できる研修会は交通費や時間の負担も少なく助かる ・職歴が短いときは参加したい		
		★希望・提案	3	・研究会と同類と考えて、研究会と合わせて一本化すればどうか ・図書館職員の勤務形態も多様化しているため、隔年くらいにあると良い
開催を希望しない ・回答数：16	・マンパワー不足で対応不可	8	・参加人員・時間の不足 ・企画・開催の労力大 ・図書館業務は外部委託、管理する職員は兼務減少	

	・不要、優先度低	3	・他地区の研究会にもオンラインで参加可能のため、東海地区であえて実施する必要なし
	★希望・提案	5	・研究会の内容として、現場担当者向けと管理者向けの研修を隔年で開催する ・研修会と合わせて一本化してはどうか ・“地区”協議会として意味のある事業に限定をするスリム化

### Ⅲ. 見学会

開催希望	理由	回答数	主な意見
開催を希望する ・回答数：37	・情報収集、情報交換の場	27	・他大学の取り組み・アイデア・レイアウト・運営方法等参考にしたい
			・個人では見学できない新規施設や話題の図書館を見学できる唯一の機会
			・他県の大学図書館を見学する機会がない
	・HPやオンラインの紹介と実際に見るとでは情報量が全く異なる		
開催を希望する ・回答数：37	・スキルアップ、刺激を得る場	1	・個人的に他の研究会や協会等に参加していない人にも、自己研鑽の機会を提供可能
	・その他	6	・実際に行ってみて楽しかった
			・長い目で見れば地域全体の底上げにもつながる活動 ・オンラインでの実施が可能なら参加希望
★希望・提案	3	・定期的に開催する必要はなく、アンケート等で要望を把握し企画・提案してはどうか ・見学会を開催する年は研究会を開催しないなど、運営委員の負担が減るようにする	
開催を希望しない ・回答数：12	・マンパワー不足で対応不可	6	・職員数が少なく参加が難しい
			・事前調整や当日運営等担当者の負担大
			・図書館業務は外部委託、管理側の職員も兼務
	・その他	5	・ネットで情報把握可能
・感染症などの環境に大きく左右される、 ・各館で情報収集したい内容は異なる ・同規模で、似たような学科構成の大学図書館を見つけることが難しい			
★希望・提案	1	・“地区”協議会として意味のある事業に限定をするスリム化	

### Ⅳ. 図書館管理・運営実務責任者会議

	理由	回答数	主な意見
開催を希望する ・回答数：28	・情報収集、情報交換の場	19	・人脈づくり、人脈維持、他大学との交流
			・情報収集、図書館運営の参考
			・協議会運営のための意見交換
	・管理職間のネットワーク作り、管理職の悩みを共有		
開催を希望する ・回答数：28	・スキルアップ、刺激を得る場	5	・実務レベルの維持には、管理・運営実務責任者と実務担当者との共通認識が重要
			・人事異動で初めて図書館業務を担当する人のためになる ・専任職員激減の状況下で、管理・運営実務責任者の交流機会はあった方が望ましい
	・その他	2	・予算・事業計画は毎年審議すべきもの
★希望・提案	2	・管理者を対象とした研修会があってもよい	

開催を希望しない ・ 回答数：18	・ マンパワー不足で対応不可	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人員が少なく参加が難しい</li> <li>・ 企画・開催の労力大</li> <li>・ 図書館業務は外注化し、職員も兼務</li> </ul>
	・ その他	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Zoom講演が一般的、企画を県外に探すことも容易、東海地区であえて実施必要なし</li> <li>・ 管理職の集まりは、西地区単位でも可能なので、不要</li> <li>・ 研究会・実務担当者研修会・見学会に比べ有意義度低い</li> <li>・ 必要がなければ開催しなくてよし</li> <li>・ 実務担当者研修会の一環として実施可能</li> </ul>
	★希望・提案	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “地区”協議会として意味のある事業に限定をするスリム化</li> </ul>

## V. 『館灯』刊行について

	理由	回答数	主な意見
刊行を希望する ・ 回答数：31	・ 発表の場、活動記録として必要	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表の場があることで業務について論理的に深く考え、振り返り改善が可能</li> <li>・ 業務や研究を発表する場があることは、特に若手・中堅の励みになる</li> <li>・ 研究発表誌としての役割がある</li> <li>・ 日本の大学図書館についての基礎資料のひとつであり、中止する理由なし</li> <li>・ 活動の記録を残すことは必要、活動の記録として重要</li> <li>・ 年間活動をまとめて把握でき、対外的にも示せる刊行物</li> </ul>
	・ 情報収集	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他大学の取り組み、課題等を知る</li> <li>・ 勉強になる、有意義な情報が得られる</li> <li>・ 同様の事例が発生した時の参考にすることができる</li> <li>・ 職員全員が企画に参加できないので、内容が公表してもらえないのはありがたい</li> <li>・ 東海地区に限定されず他大学図書館について知ること可能</li> <li>・ 図書館に配属される職員には必携</li> </ul>
	★希望・提案	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冊子は収納スペースを要し図書館職員回覧に時間を要するので電子ジャーナル化が良い</li> <li>・ 電子ジャーナルは早くて便利、電子版は全国的な発信も可能</li> <li>・ スリム化を図るうえでEJ化と外部委託化しではどうか</li> <li>・ 委託化すれば継続可能ではないか</li> </ul>
刊行を希望しない ・ 回答数：9	・ 担当の負担大	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編集作業等にかかる負担が大きい</li> <li>・ 各大学、講演者、業者との調整が多い、</li> </ul>
	・ 必要性感じず	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閲覧頻度がほとんどない</li> <li>・ 読む時間がとれない、読まない</li> <li>・ 研究会などを開催し実際に見て学ぶ機会があれば刊行する必要はない</li> </ul>
	★希望・提案	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務内容を精査しメリットを検討し委託の判断をすればよい</li> </ul>

## 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会 事業に係る申し合せ（案）の制定について

「東海地区協議会スリム化検討ワーキンググループ」において検討され、とりまとめられた『東海地区事業スリム化(案)』に基づき、今後、東海地区協議会の事業が円滑に運営されることを目的に以下の通り『私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会事業に係る申し合せ（案）』を制定する。

\*\*\*\*\*

### 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会事業に係る申し合せ（案）

- 1 この申し合せは、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会（以下、「協議会」という。）の事業について、継続的且つ円滑に運営されることを目的として定める。
- 2 研究会の企画に、実務担当者研修会及び見学会を統合し、研究会、実務担当者研修会及び見学会（以下、「研究会」という。）のいずれかを原則として年1回開催することとする。
- 3 研究会の開催時期、開催方式、アーカイブ化等の運営に必要な事項については、研究会運営委員会で検討、審議する。ただし、見学会を開催する場合は、原則として現地集合・現地開催とするよう企画する。
- 4 図書館管理・運営実務責任者会議（以下、「会議」という。）は、理事校任期期間中（2年間）に少なくとも1回の開催とし、開催方法は原則として対面開催とする。
- 5 会議の内容は、管理者レベルでの情報交換を目的とした企画とし、開催時期、具体的な内容等は、理事校が企画し、会議運営委員会で検討、審議する。
- 6 『館灯』は、冊子体の刊行を当面継続する。
- 7 『館灯』の掲載内容の詳細については、別に定める。
- 8 その他必要な事項については、協議会常任幹事会において適宜協議することとする。

この申し合せは、2023年5月26日より実施し、2023年度の事業から適用する。

## 西地区ならびに東海地区協議会におけるスリム化の検討について

### 1. 西地区部会の組織・活動のスリム化について

#### 1) 西地区部会スリム化検討委員会調査・提案事項について

##### (1) 「部会長校」選出方法および基準の見直しについて

- ・委員会において、地区輪番制をやめ西地区部会全体で見直すためには対象校の基準を決める必要があり、「収容定員数を基準とし、専任職員数を考慮する」ことを承認
- ・具体的な基準案について継続協議

##### (2) 2021 年度第 2 回西地区部会役員会（2022/3/4）提案・承認事項

###### ○西地区部会総会当番校をなくす（時期は未定）

- ・付帯事項① 「部会総会」をメール会議とする。

資料メール配信・オンラインフォームによる回答により決議

- ・付帯事項② 資料の冊子は作成しない。

協会ホームページへの掲載（従前どおり）及び加盟館へのメール配信

※2022 年度西地区部会総会において承認された。

#### 2) スリム化検討の進捗状況と今後のスケジュール

##### (1) 2022 年度進捗状況

西地区部会スリム化検討委員会が一度も開催されず、西地区全体で輪番制の組み直す検討が進まなかったことについて、西地区部会前部会長校の松山大学からお詫びが申し述べられた。

##### (2) 今後のスケジュール

未定

### 2. 東海地区協議会事業スリム化の検討について

#### 1) 東海地区協議会事業スリム化（案）について

- ・協議事項 8 のとおり（41 頁を参照）。

#### 2) 2023 年度スケジュール（案）について

- ・結論が保留となっている『館灯』の掲載内容の詳細や著作権の問題を始めとした諸課題や今後の取り扱い等について、研究会運営委員会・スリム化検討ワーキンググループ・常任幹事会において検討する。

#### 3) 2023 年度東海地区協議会スリム化ワーキンググループ（案）について

愛知大学，愛知学院大学，愛知学泉大学，愛知工業大学，愛知淑徳大学，金城学院大学，椙山女学園大学，中部大学，名古屋外国語大学・名古屋学芸大学，藤田医科大学，名城大学（50 音順）